

大動脈弁狭窄症患者における非心電図同期 CT 大動脈弁カルシウムスコアの予後予測価値

1. 研究の対象

2016 年 1 月 1 日～2025 年 8 月 31 日の間に秋田大学医学部附属病院で心臓超音波検査(心エコー)を受け、大動脈弁狭窄症(peak aortic jet velocity:2.0m/s 以上)と診断され、同期間中に胸部単純 CT(心電図同期を行わない CT)を受けられた方を対象としています。

2. 研究目的・方法

本研究は、すでに実施された検査データを用いて行う後ろ向き観察研究です。

目的は、胸部 CT 画像から算出される大動脈弁の石灰化の程度(カルシウムスコア)が、大動脈弁狭窄症の重症度や将来の心臓関連イベント(心不全入院、脳梗塞、心臓死など)の発生をどの程度予測できるかを明らかにすることです。

研究では、過去の心エコー検査および胸部 CT 画像をもとに大動脈弁石灰化スコアを計算し、その値と経過中の心不全入院、心血管死、脳梗塞、または外科的/経カテーテル大動脈弁治療の発生との関連を統計的に解析します。

なお、新たな検査や治療は一切行いません。患者さんに直接の負担や不利益が生じることはありません。

研究実施期間：研究実施許可日 ～ 2027 年 12 月 31 日

試料・情報の利用開始予定日：2025 年 11 月 27 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：採血検査結果、心臓超音波検査(心エコー)所見、胸部 CT 画像、カルテに記載された診療経過、既往歴、生活歴、服薬情報、心血管イベントの有無 等個人を特定できる情報(氏名、カルテ番号、生年月日)は加工して扱います。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座

〒010-8543 秋田県秋田市広面本道 1-1-1

TEL 018-834-1111 (代表)

研究責任者 助教 若木 富貴

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 羽渕 友則